

市民協働事業桜まつり
「ふれあい会館」前で桜まつり



4月1日に移転した「ふれあい会館」前の桜通りが4月7日と8日、市民桜まつりで歩行者天国となりました。8日(日)はさまざまな団体が参加して桜通りのパレードが行なわれ、当センターも両日、会館建物前に出店しました。

事務局はじめ役員、総務委員の方々が手伝いにあたり、小物班と刃物研ぎ班が出店したほか、ミニバスケットボールゲームが設けられ、家族連れのお客さんなどが立ち寄っていました。通りではセンター移転案内のウェットティッシュ配布などの宣伝活動を行いました。

今年は例年より早く桜が開花し、残念ながら葉桜になっていました。その中を、桜まつりの横断幕を持った子供達と高野市長や小野寺市議会議長の先頭パレードで



始まり、ラグビーの東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスのパレード、そして大勢の幼稚園児や小学生の鼓笛隊パレードが続きました。また民踊、お祭り山車や子供の府中囃子が繰り出し、カラフルで華やかな賑わいとなり、沿道の観客や子供たちも大はしゃぎで楽しんでいました。

多摩川ボランティア清掃

予定していた4月15日が雨のため、一週間後の4月22日(日)に府中市多摩川ボランティア清掃が開催され、当センターは今年も参加しました。当センターの参加者は73名でした。地域委員会を中心に、正・副会長・事務局長も参加されセンターを挙げてのボランティア活動です。

昨年の清掃の時は桜が満開だったのですが、今年と同じころにもかかわらず桜の花はなく、新緑の葉が美しく茂っていました。今回は夏日を思わせる好天気のもとで



の開催です。

当センターは、府中市体育館南の多摩川土手に本部を設置し、参加者は参加手続き後、ボランティアアカードに参加印を頂き、受付完了。芝辻地域委員長のかけ声で集合写真を撮り、軍手や掃除用具、ごみ回収袋を手に手に、二名一組でいよいよ清掃開始です。

今回も小・中・高校や各種サークル・自治会など多くの団体や個人が参加したおかげで、土手の周りや草むらは間もなくきれいになりました。それでも念入りにさがし、たばこの吸い殻などを見つけると、ていねいにごみ袋に入れていきました。

1時間くらいの活動後、集めたごみを「ごみ集積所」に持っていく、記念品の絆創膏を頂き、今年のも多摩川ボランティア清掃も解散となりました。

